

平成19年度 財務の概要

福岡北九州高速道路公社

目 次

1 . 会計処理の特徴	1
2 . 償還準備金積立方式のしくみ	2
3 . 収支状況	3
4 . 営業中道路の収支状況	5
5 . 財務状況	6
6 . 償還準備金の積立状況	8
7 . 料金収入・通行台数・供用延長の推移	9
8 . 供用実績	10
9 . 長期借入金の残高状況	12
10 . 償還計画と実績の対比	13

1. 会計処理の特徴

公社の経理は、地方道路公社法、同法施行規則、福岡北九州高速道路公社会計規程に基づいた会計処理を行っています。
ただし、有料道路事業の特性から次の特徴があります。

有料道路制度の会計の特徴は

有料道路事業は、借入金により道路を建設し、お客様からの料金収入により、定められた期間内に償還し、償還完了後は無料開放する制度。
毎年度の『収支差』(収入と費用の差)は全て投下資金(借入金)の償還に充当。

借入金の償還状況を適切に把握するために

福岡北九州高速道路公社は、利益を配当する義務がなく、法人税法の公共法人なので、法人税を課せられたりすることがなく、収支差の全てを償還に充当(配当可能利益や企業会計上の減価償却を行う必要性がない。)
したがって、無料開放を実現するとの観点から借入金の償還状況を会計処理において適切に把握することが重要。
ただし、償還完了については収支差の状況次第だけでなく、一定の期間設定の制約が付されている。

償還準備金積立方式を採用

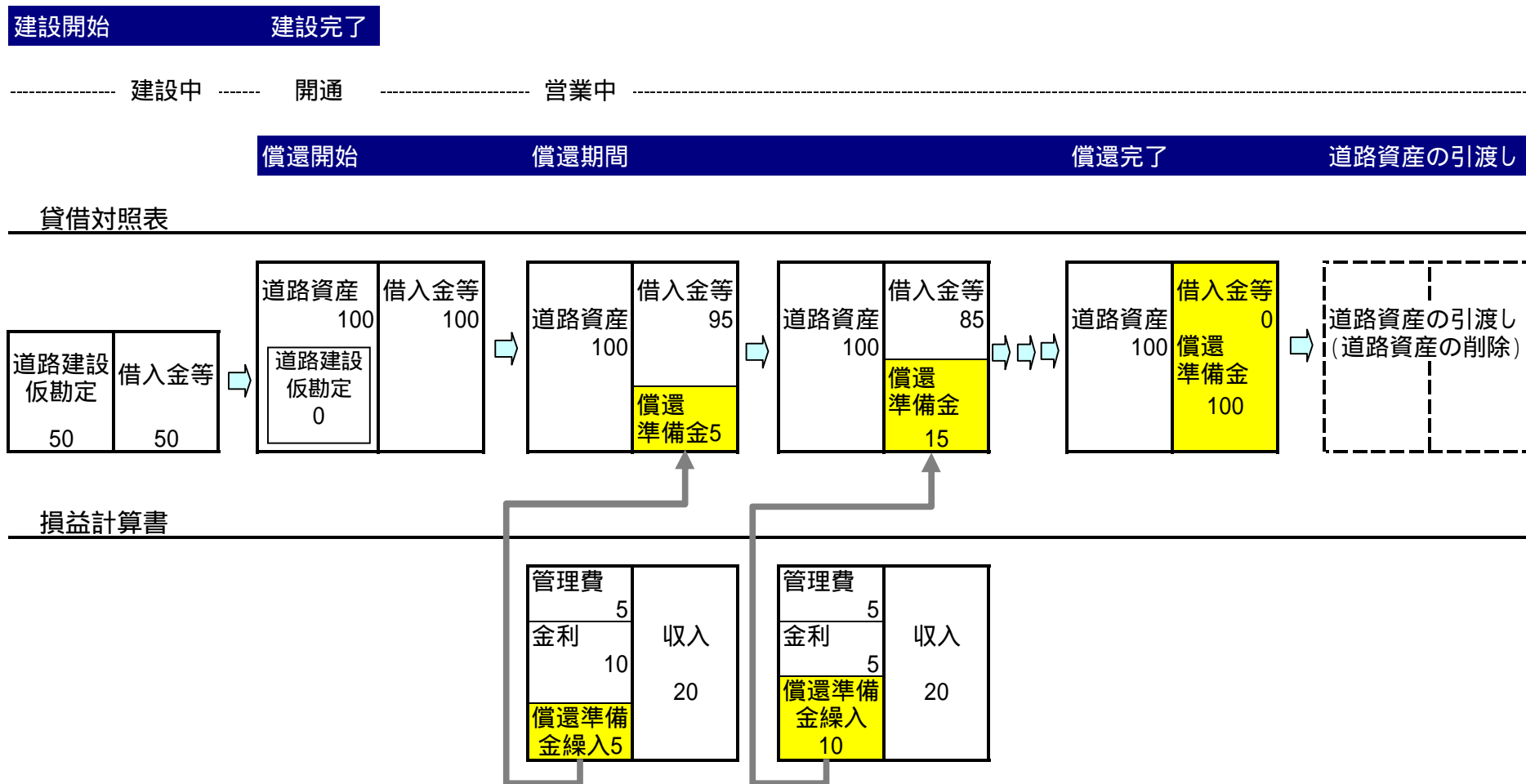
借入金の償還に充てられる各年度の『収支差』を『償還準備金繰入』として費用計上し、その累計額を『償還準備金』として負債に計上する方式を採用。
道路の資産を形成するのに要した費用を積み上げた『道路資産』と借入金の返済に充てる『償還準備金』を対比することにより、償還状況が明確に把握できる。

国及び地方公共団体の支援

整備に要する資金の一部は、計画的な事業執行や安定した償還が可能となるよう国の無利子貸付金や地方公共団体(設立団体)の出資金により構成。
また、民間資金等の借入金については、設立団体である福岡県、福岡市及び北九州市の債務保証が付されている。

2. 償還準備金積立方式のしくみ

会社の貸借対照表と損益計算書にみる償還準備金積立方式のしくみ



3. 収支状況

平成19事業年度損益計算書(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位:百万円)

費用の部				収益の部			
勘定科目	H19年度	H18年度	増減額	勘定科目	H19年度	H18年度	増減額
	A	B	A - B		A	B	A - B
経常費用	51,146	54,729	3,583	経常収益	51,192	54,788	3,596
事業資産管理費	9,432	9,542	110	業務収入	50,882	54,279	3,397
福岡高速道路管理費	5,575	5,488	87	道路料金収入	50,547	53,913	3,366
北九州高速道路管理費	3,756	3,964	208	(福岡高速道路)	34,360	36,796	2,436
駐車場管理費	101	90	11	(北九州高速道路)	16,188	17,117	929
一般管理費	1,115	1,054	61	駐車場料金収入	207	194	13
一般管理費	973	909	64	その他	128	171	43
その他	142	145	3	受託業務収入	183	467	284
引当金等繰入	28,683	31,367	2,684	負担金事業受入金	1	2	1
道路事業損失補填引当金繰入	2,391	2,562	171	業務外収益	126	40	86
(福岡高速道路)	1,620	1,747	127	受取利息	60	15	45
(北九州高速道路)	771	815	44	その他	65	25	40
償還準備金繰入	26,292	28,805	2,513				
(福岡高速道路)	19,383	21,291	1,908				
(北九州高速道路)	6,910	7,514	604				
受託業務費	183	467	284				
負担金事業費	1	2	1				
業務外費用	11,732	12,297	565				
債券利息	5,964	6,107	143				
借入金利息	5,502	5,889	387				
その他	266	301	35				
当期利益金	46	59	13				
合 計	51,192	54,788	3,596	合 計	51,192	54,788	3,596

各費目において四捨五入しているため、計において合致しない場合があります。

(1) 福岡高速道路

経常収益は、344億9,800万円(対前年比24億2,300万円の減)となりました。これは主に、滞留回数券(販売停止：平成18年12月31日、利用停止：平成19年12月31日)での通行による減収及び平成18年度の発生主義変更に伴う増収の剥落によるものです。

一方、経常費用(償還準備金繰入を除く)は、151億1,600万円(対前年比5億1,400万円の減)となりました。これは主に、回数券の払戻しによる事業資産管理費の増加はあったものの、金利の低下による支払利息の減少、料金収入の減少に伴う消費税及び損失補てん引当金の減少によるものです。

道路事業における収入から管理費と支払利息等を差引いた収支差である償還準備金繰入は、193億8,300万円(対前年比19億800万円の減)となっており、道路の建設に投下した借入金の返済に充当されています。

(2) 北九州高速道路

経常収益は、162億9,500万円(対前年度比9億800万円の減)となりました。これは主に、利用交通量の減少及び平成18年度の発生主義変更による増収の剥落によるものです。

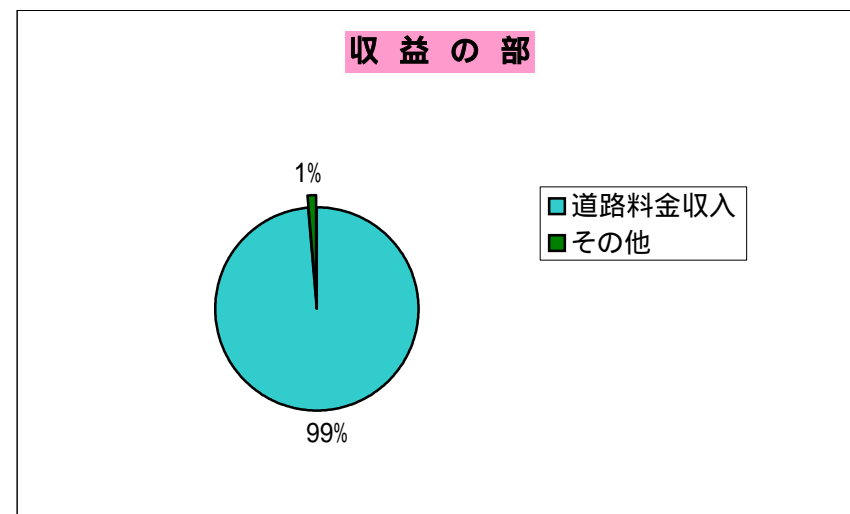
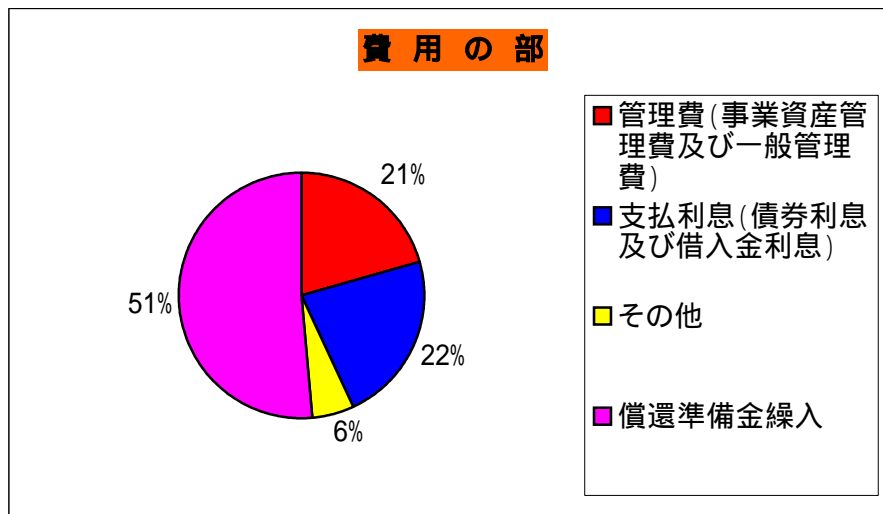
一方、経常費用(償還準備金繰入を除く)は、93億8,400万円(対前年比3億500万円の減)となりました。これは主に、事業資産管理費の経費節減、料金収入の減少に伴う消費税及び損失補てん引当金の減少によるものです。

道路事業における収入から管理費と支払利息等を差引いた収支差である償還準備金繰入は、69億1,000万円(対前年比6億400万円の減)となっており、累積欠損金(マイナスの償還準備金)の解消に充当されています。

(3) 駐車場事業

当期利益は4,600万円(対前年比1,300万円の減)となりました。これは主に管理経費の増によるものです。

損益計算書 円グラフ



4. 営業中道路の収支状況

【福岡高速道路】

(単位:百万円)

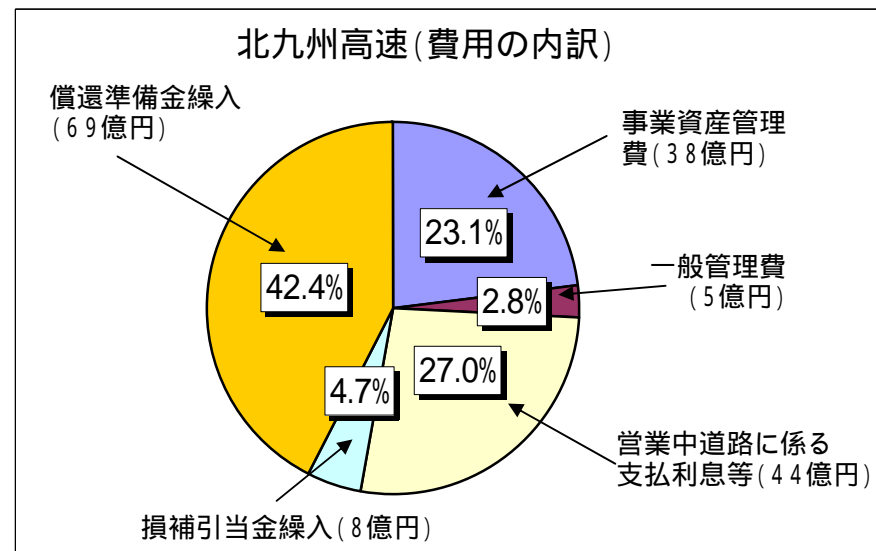
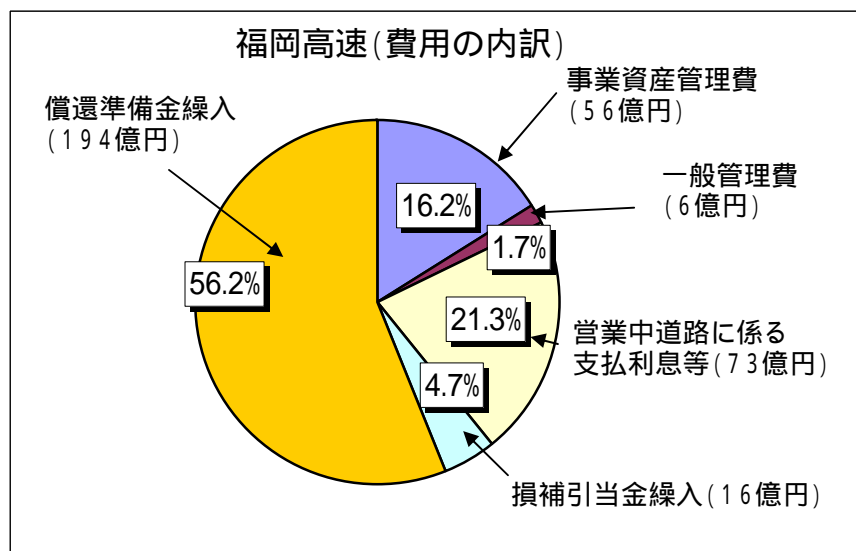
	収益 (A)	営業中道路に係る費用(B)					償還準備 金繰入額 (A) - (B)	収支率 (B)/(A) × 100
		事業資 産 管理費	一般 管理費	支払 利息等	損補 引当金 繰入	計		
H19	34,498	5,575	586	7,335	1,620	15,116	19,383	43.8%
H18	36,921	5,488	548	7,848	1,747	15,630	21,291	42.3%

【北九州高速道路】

(単位:百万円)

	収益 (A)	営業中道路に係る費用(B)					償還準備 金繰入額 (A) - (B)	収支率 (B)/(A) × 100
		事業資 産 管理費	一般 管理費	支払 利息等	損補 引当金 繰入	計		
H19	16,295	3,756	461	4,396	771	9,384	6,910	57.6%
H18	17,203	3,964	461	4,449	815	9,689	7,514	56.3%

- ・「償還準備金繰入」は、営業中道路から生じる毎期の収支差を高速道路の建設・改良に投下した借入金の返済に充てるもので償還準備金に繰り入れられるもの。
 - ・「収支率」は、100円の収入を得るのにどのくらいの費用が必要であったかを示すもの。
- (注)各費目において四捨五入しているため、計において合致しない場合があります。



5 . 財務状況

平成19事業年度貸借対照表 (平成20年3月31日現在)

資 産 の 部				負 債 及 び 資 本 の 部			
勘 定 科 目	H19年度	H18年度	増減額	勘 定 科 目	H19年度	H18年度	増減額
	A	B	A - B		A	B	A - B
流動資産	10,374	12,938	2,564	流動負債	11,300	12,271	971
固定資産	1,195,509	1,172,767	22,742	固定負債	838,532	851,379	12,847
事業資産	1,135,466	1,126,462	9,004	福岡北九州高速道路債券	336,471	328,019	8,452
福岡高速道路	770,704	768,673	2,031	長期借入金	493,519	514,655	21,136
北九州高速道路	364,762	357,789	6,973	退職給与引当金	1,508	1,741	233
事業資産建設仮勘定	57,332	43,667	13,665	ETCマイレージ引当金	145	75	70
福岡高速道路	57,332	43,667	13,665	資産見返交付金	6,889	6,889	0
北九州高速道路	0	0	0	特別法上の引当金等	146,923	118,240	28,683
有形固定資産	2,528	2,599	71	道路事業損失補填引当金	34,704	32,313	2,391
その他	182	39	143	福岡高速道路	20,792	19,172	1,620
繰延資産	1,111	1,068	43	北九州高速道路	13,912	13,141	771
				償還準備金	112,219	85,927	26,292
				福岡高速道路	117,137	97,755	19,382
				北九州高速道路	4,918	11,828	6,910
				(負債合計)	996,755	981,890	14,865
				基本金	209,616	204,306	5,310
				剰余金	623	577	46
				(資本合計)	210,239	204,883	5,356
資 産 合 計	1,206,994	1,186,773	20,221	負 債・資 本 合 計	1,206,994	1,186,773	20,221

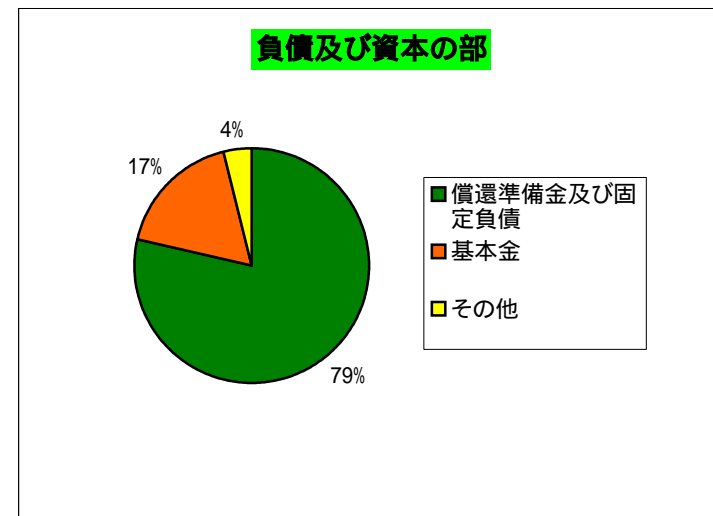
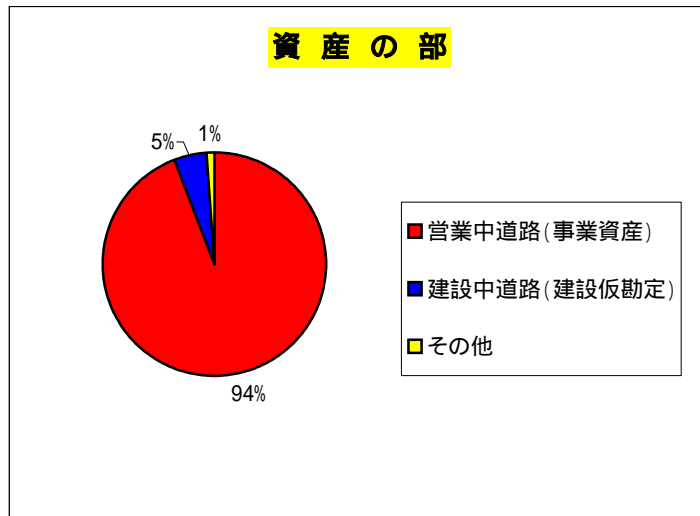
各費目において四捨五入しているため、計において合致しない場合があります。

(資産の状況)

資産の総額は、1兆2,069億9,400万円となりました。このうちお客様に利用していただいている営業中の道路資産は1兆1,354億6,600万円、工事中道路の道路資産は573億3,200万円です。この合計額は、1兆1,927億9,800万円で全体の99%を占めています。

(負債及び資本の状況)

負債及び資本の総額は、1兆2,069億9,400万円となりました。主なものは、道路債券などの借入金が8,299億8,900万円、営業中道路の建設・改良に投下した借入金の返済に充てた額(償還準備金)が1,122億1,900万円(福岡高速1,171億3,700万円、北九州高速 49億1,800万円)、地方公共団体からの出資金が2,096億1,600万円です。



6. 償還準備金の積立状況

【福岡高速道路】

(単位:百万円)

	営業中道路 (償還対象額) (A)	償還準備金 (B)	未償還残高 (A - B)	償還率 (B / A) × 100
H19	768,391	117,137	651,254	15.2%
H18	766,360	97,755	668,605	12.8%

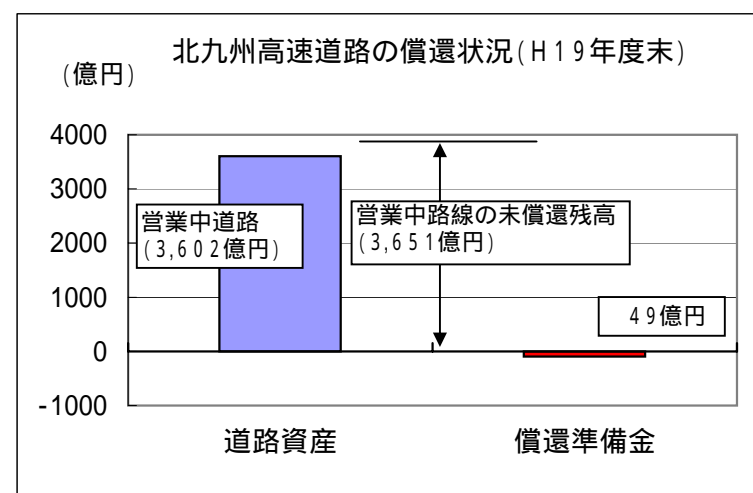
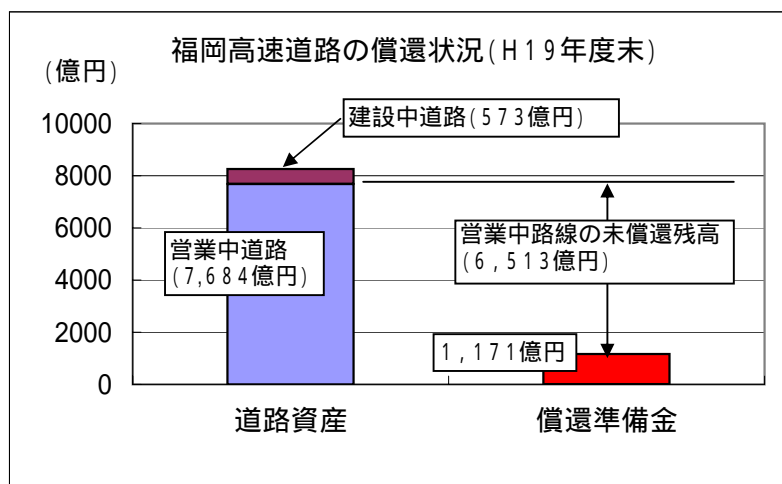
【北九州高速道路】

(単位:百万円)

	営業中道路 (償還対象額) (A)	償還準備金 (B)	未償還残高 (A - B)	償還率 (B / A) × 100
H19	360,186	-4,918	365,104	-1.4%
H18	353,213	-11,828	365,041	-3.3%

「営業中道路(償還対象額)」とは、営業中道路の建設に投下した額の合計額(営業中道路の資産総額)から、償還を要しない資産見返交付金(補助金)を控除した額。
 「償還準備金」とは、平成19年度末までの償還準備金繰入額の累計額。
 「未償還残高」とは、営業中道路について今後償還準備金を積み立てて、返済をしていくことになる金額。

	営業中道路の 資産総額	資産見返 交付金	営業中道路 (償還対象額)	備考
福岡高速道路	770,704	2,313	768,391	この他に、工事中道路の資産総額(道路建設仮勘定): 57,332
北九州高速道路	364,762	4,576	360,186	



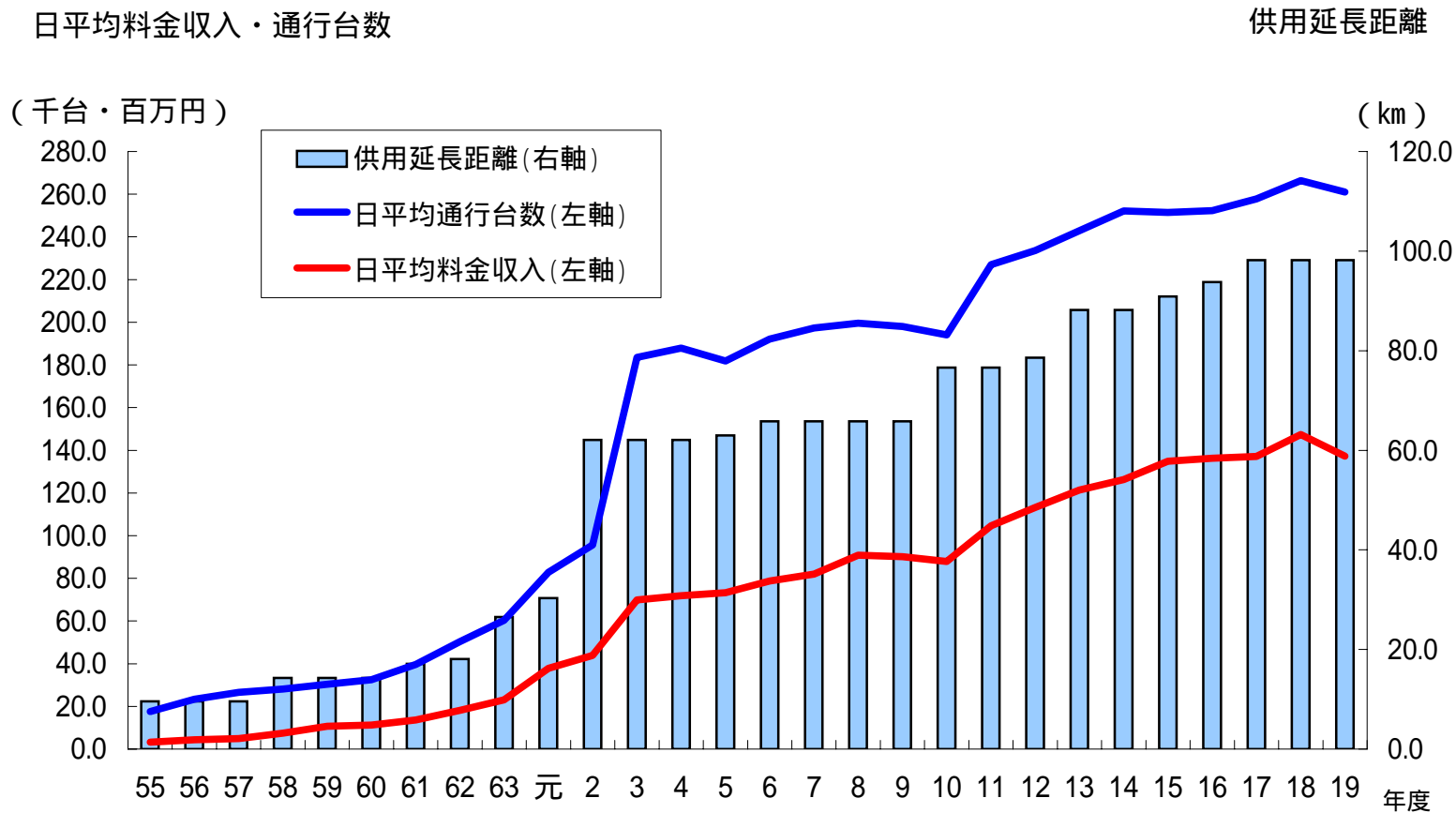
7. 料金収入・通行台数・供用延長の推移（全体）

平成19年度

料金収入 502億円

日平均料金収入 1.4億円

日平均通行台数 26万台



供用延長距離	
平成20年3月末現在	98.2km
料 金	
福岡高速	
普通車	600円
大型車1	2,000円
北九州高速	
普通車	500円
大型車1	1,000円

8 . 供用実績

〔福岡高速道路〕

供用区分	供用年月日 料金改定日	供用延長 (km)		供用区間	料 金 (円)	
		区間	累計		大型車	普通車
一次供用	S55.10.20	5.9	5.9	香椎～東浜	400	200
	S57. 3.27	-	5.9	貝塚入口		
	S58. 6.30	-	5.9	貝塚出口		
二次供用	S58.10. 6	1.5	7.4	東浜～築港	700	350
三次供用	S61. 4.23	0.8	8.2	千鳥橋 J C T ～呉服町		
四次供用	S62.11. 6	1.0	9.2	築港～天神北	800	400
五次供用	S63.10.31	2.1	11.3	天神北～西公園		
				千鳥橋 J C T (渡り線)		
六次供用	H 1. 3. 4	5.2	16.5	西公園～百道	1,000	500
				呉服町～榎田		
				豊 J C T ～空港通		
	H 1.10. 1	-	16.5	料金改定	1,030	510
	H 2.12.25	-	16.5	名島本線料金所拡幅		
	H 3. 3.21	-	16.5	東浜西出口		
H 4. 4.23	-	16.5	名島出入口			
H 4. 7. 1	-	16.5	東浜西入口			
七次供用	H 5. 4. 2	0.9	17.4	香椎東～香椎	1,030	510
八次供用	H 6. 4. 4	2.8	20.2	榎田～月隈北		
	H 9. 6. 1	-	20.2	料金改定 (回数通行券料金)		
九次供用	H11. 3.27	10.8	31.0	月隈～水城	1,100	550
				貝塚 J C T ～粕屋		
	H12. 3.28	-	31.0	料金改定・貝塚入口	1,100	550
十次供用	H12.11.21	0.5	31.5	貝塚 J C T (渡り線)		
十一次供用	H13.10.13	5.3	36.8	百道～福重		
十二次供用	H14. 3.10	1.9	38.7	粕屋～福岡 I C	1,200	600
	H15. 5. 1	-	38.7	料金改定		
十三次供用	H15. 5. 1	2.7	41.4	月隈 J C T ～板付		
十四次供用	H16. 6.27	2.9	44.3	西月隈出入口・板付～野多目	1,200	600
十五次供用	H18.3.26	4.4	48.7	野多目～堤		

(注) 料金改定日は、一次供用を除き供用年月日の翌日。但し、料金改定のみの場合は同日。

〔北九州高速道路〕

供用区分	供用年月日 料金改定日	供用延長 (km)		供用区間	料 金 (円)							
		区間	累計		大型車	普通車						
一次供用	S55.10.20	3.7	3.7	日明～篠崎北	300	150						
二次供用	S58.10.6	3.2	6.9	篠崎北～若園 東港出入口	700	350						
	S59.4.21	-	6.9	篠崎南出口								
三次供用	S61.12.2	2.0	8.9	若園～横代 篠崎南入口								
				四次供用			S63.12.17	1.1	10.0	愛宕JCT～下到津		
五次供用	H1.8.30	2.8	12.8	日明～戸畑	720	360						
六次供用	H2.3.31	1.0	13.8	戸畑～若戸 東港JCT～小倉駅北 西港出口 東港出入口廃止								
				七次供用			H3.3.31	31.8	45.6	春日～馬場山 一部区間料金(4号線)	300	150
											400	200
500	250											
600	300											
	H5.4.1	-	45.6	料金改定	720	360						
	H7.9.30	-	45.6	山路出入口	900	450						
	H9.6.1	-	45.6	料金改定(回数通行券料金)								
八次供用	H12.7.26	1.5	47.1	長野～横代	1,000	500						
	H12.11.1	-	47.1	料金改定								
九次供用	H13.7.2	2.4	49.5	枝光出入口～大谷出入口 大谷JCT								
十次供用	H18.2.26	-	49.5	小倉東IC接続								
備 考	九州縦貫自動車道八幡ICと北九州高速との接続ランプに金剛出口を新設(H17.3.31供用) 九州縦貫自動車道八幡ICと北九州高速との接続ランプに金剛入口を新設(H18.3.4供用)											

(注) 料金改定日は、一次、七次供用を除き供用年月日の翌日。但し、料金改定のみの場合は同日。

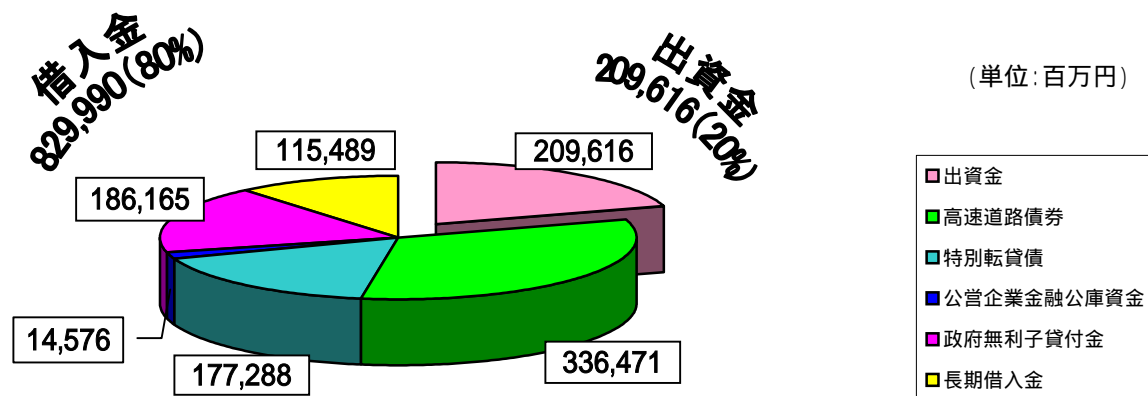
9 . 長期借入金の残高状況

平成19年度末借入金残高

(単位:百万円)

	全 体			路線別内訳						
				福岡高速			北九州高速			
	H19年度	H18年度	増減額	H19年度	H18年度	増減額	H19年度	H18年度	増減額	
	A	B	A - B	A	B	A - B	A	B	A - B	
設立団体出資金	209,616	204,306	5,310	154,247	150,567	3,680	55,369	53,739	1,630	
借入金	高速道路債券	336,471	328,019	8,452	206,692	206,059	633	129,779	121,960	7,819
	特別転貸債	177,288	185,231	7,943	132,862	138,315	5,453	44,427	46,916	2,489
	公営企業金融公庫資金	14,576	13,992	584	11,728	11,352	376	2,848	2,639	209
	政府無利子貸付金	186,165	190,943	4,778	143,170	147,007	3,837	42,995	43,935	940
	長期借入金	115,489	124,489	9,000	39,500	41,000	1,500	75,989	83,489	7,500
	計	829,990	842,674	12,684	533,952	543,734	9,782	296,037	298,939	2,902
合計	1,039,605	1,046,979	7,374	688,199	694,301	6,102	351,406	352,678	1,272	

(注)各項目において四捨五入しているため、計において合致しない場合があります。



10. 償還計画と実績の対比

福岡北九州高速道路の償還計画の達成状況を分かりやすく示すため、収入や費用、収支率や償還率等について実績(平成19年度決算)と計画の比較を行いました。

福岡高速の実績については、収入が計画をやや下回っていますが、管理費等の縮減努力により支出を抑えたことで費用も計画を下回りました。この結果、償還準備金繰入及び償還準備金は計画を達成することができました。

北九州高速の実績については、収入が計画を下回っていますが、管理費の縮減努力により支出を抑えたことで費用も計画を下回りました。この結果、償還準備金繰入は計画をやや下回りましたが、償還準備金は計画を達成することができました。

今後とも採算性を確保するため、利用促進とともに建設や管理の経費縮減に努めてまいります。

[平成19年度]

(単位:億円)

道路名	収入(a)	費用(b)				償還準備金繰入 (a - b)	収支率 (%) $b/a \times 100$	償還準備金	事業資産	償還率(%)
		管理費	損失補填	金利	合計					
合計	508	104	24	117	245	263	48%	1,122	11,355	10%
	522	111	25	124	260	261	50%	1,096	11,237	10%
福岡高速	345	62	16	73	151	194	44%	1,171	7,707	15%
	348	64	16	78	159	190	46%	1,151	7,704	15%
北九州高速	163	42	8	44	94	69	58%	49	3,648	-1%
	173	48	8	46	102	72	59%	55	3,533	-2%

上段:実績

下段:償還計画

四捨五入の関係で計が合わないことがあります。

償還計画の対比方法

償還計画は、福岡は提供用及びETC導入に伴う料金認可(平成18年3月認可)、北九州は小倉東IC連結に伴う料金認可(平成18年1月認可)の値としました。

なお、償還計画は収入支出予算をベースに作成されているため、実績(平成19年度損益決算)と対比できるよう、償還計画を下記のとおり変換しました。

- ・収入は、ETCマイレージ還元負担金収入を加算しました。
- ・管理費は償還計画表上の管理費から道路改良費を減し、ETCマイレージ還元負担金、ETCマイレージ引当金繰入、減価償却費、退職給与引当金繰入を加算しました。また、納付(還付)消費税については、実績値に変換しました。
- ・償還準備金繰入は、収入から管理費、金利、損失補填引当金繰入を差引きました。
- ・償還準備金は、計画作成時の実績に各年度の償還準備金繰入を加算しました。

- ・事業資産は、計画作成時の実績に供用年度に供用した道路の建設費の累計を加算するとともに、各年度の管理費のうち改良費を加算しました。
- ・償還率は、償還準備金を事業資産から交付金を差引いたもので除しました。

損失補填引当金

損失補填引当金は、個々の道路で将来事情の不可測性等により償還計画満了時に借入金等が残った場合に備えて、その補填に当てるため料金収入の一部を積み立てているもので、道路整備特別措置法に定められています。

すなわち損失補填金は、決算では費用として扱っていますが、将来のリスクに備え、公社の経営の安定を図る内部保留金としての性格を持っており、その残高は借入金の返済余裕を表しています。

損失補填金の残高は平成19年度末で347億円であり、毎年増加しています。